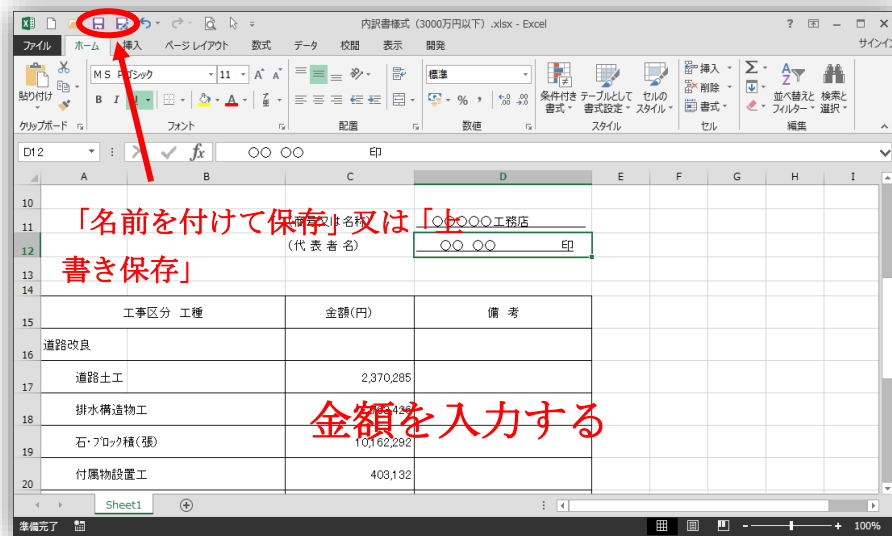


## 内訳書変換ツールの使用について（試用版）

・「いばらき電子入札共同利用」のページから、「工事費内訳書通常版（例）」又は「工事費内訳書簡易版（例）」をダウンロードして開きます。

金額等を入力し、任意のフォルダ（例：「デスクトップ」－「内訳書」）に保存してください。



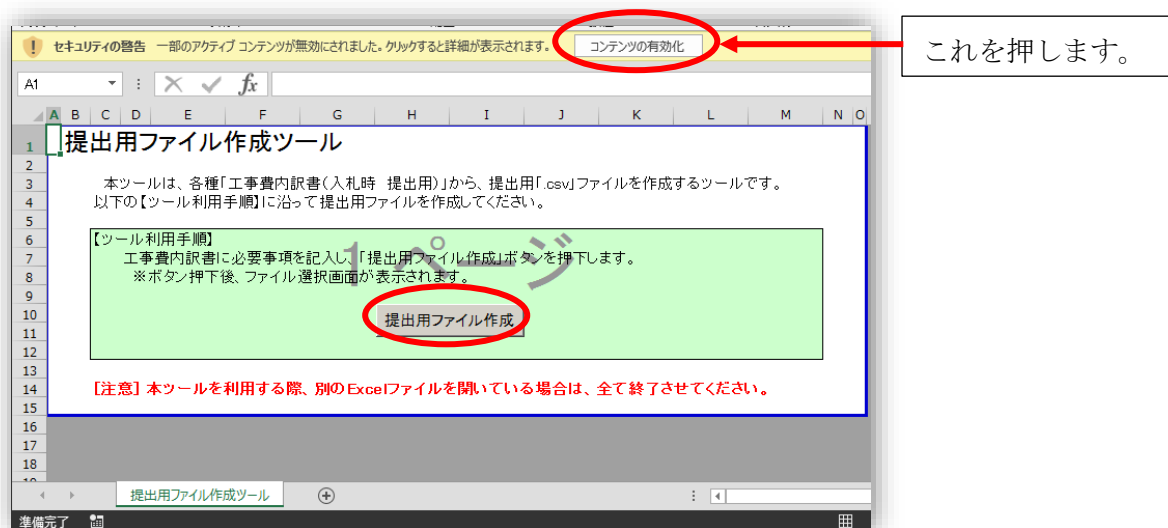
・「いばらき電子入札共同利用」のページから「内訳書変換ツール.zip」をダウンロードし、解凍してください。（ZIP形式）

※zipファイルはパスワードで保護されています。パスワードは別途E-mailでお知らせします。

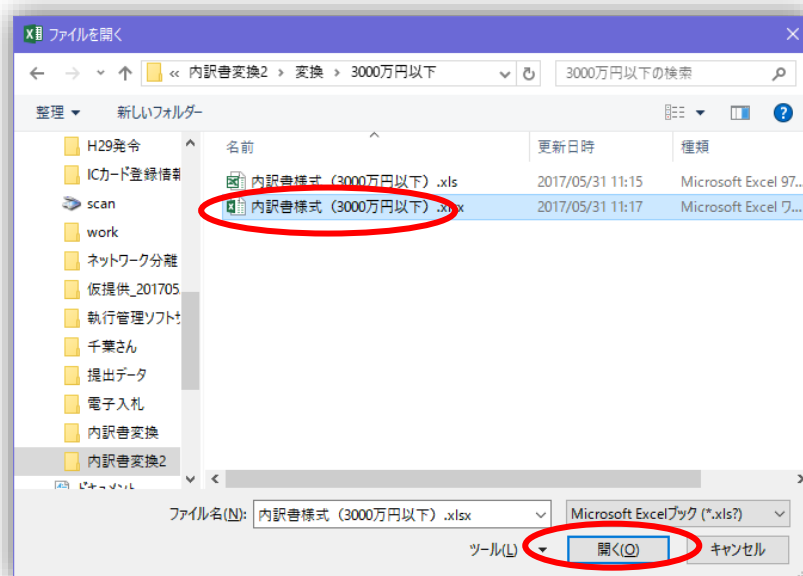
解凍したフォルダから「提出用ファイル作成ツール」のフォルダを開き、「提出用ファイル作成ツール.xlsxm」を実行してください。




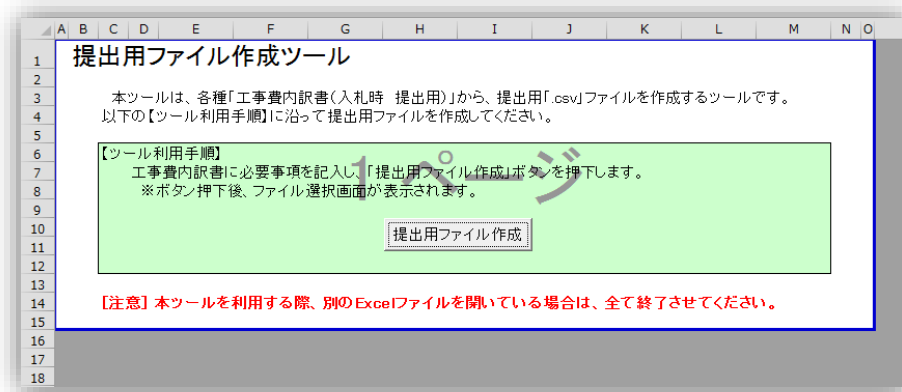
- ・「提出用ファイル作成ツール」を開く際に、“セキュリティの警告”が表示された場合は，“コンテンツの有効化”を押してください。  
中央にある「提出ファイル作成」を押します。



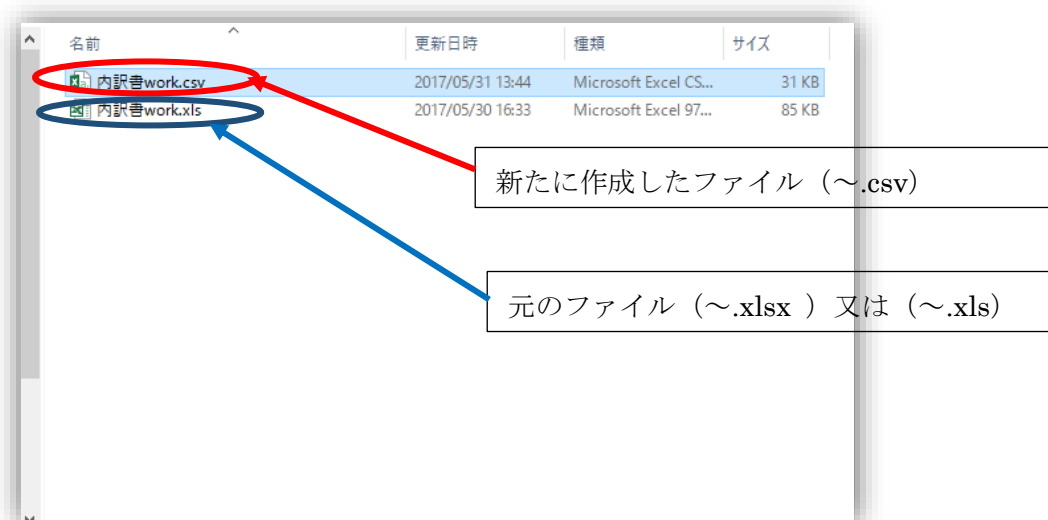
- ・「ファイルを開く」で、先ほど作成した工事費内訳書の Excel ファイルを指定します。  
「開く」を押します。



- ・マウスポインタが一時的に  の表示になり、通常の矢印に戻ります。ここでエラーメッセージが表示されなければ成功です。



- ・先ほど工事費内訳書を保存したフォルダを開き、ファイル名の拡張子が「～.csv」というファイルが作成されていることを確認してください。



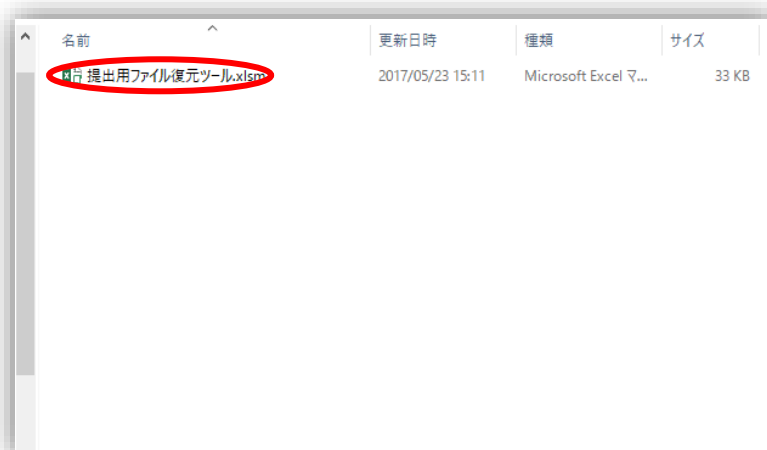
<参考>

- ・変換ツールで作成したファイルを復元する方法

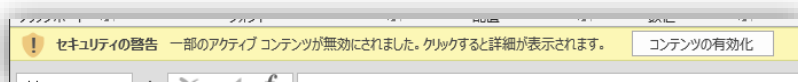
受注者側では必要はありませんが、変換作業で正しく変換されたかは確認できません。

そこで、念のために確認したい場合は、発注者が使用する変換ツール「提出用ファイル復元ツール」で、(~.csv) ファイルを Excel に復元できます。

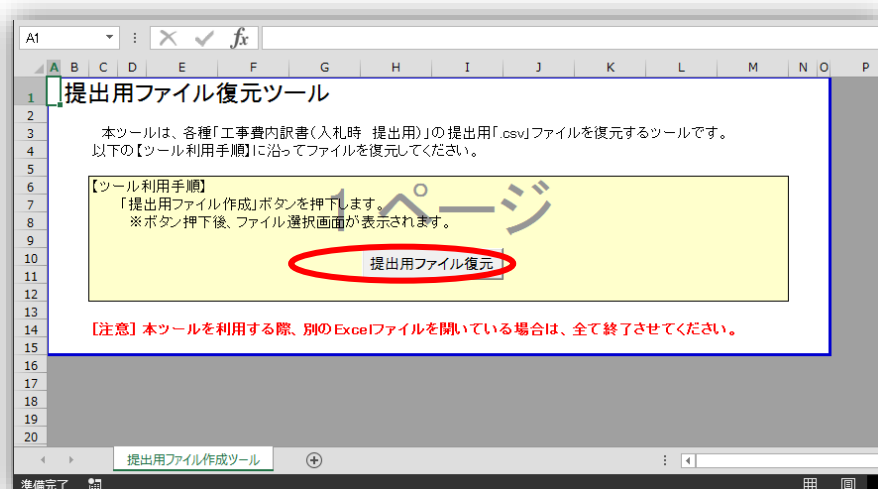
復元ツールは、先ほど解答したフォルダに含まれます。「提出用ファイル復元ツール」のフォルダを開き、「復元ツール」を開きます。



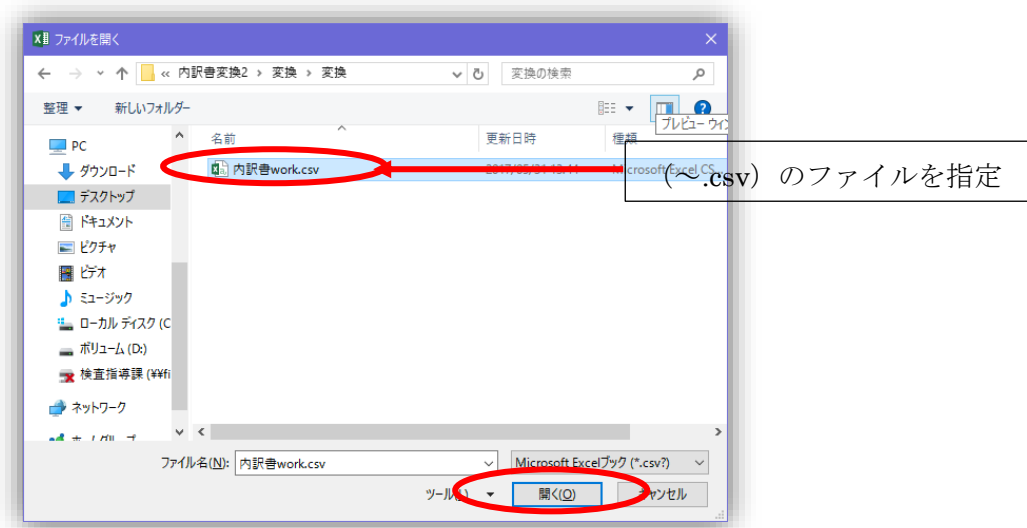
- ・このメッセージが出る場合は「コンテンツの有効化」を押してください。




- ・画面中央の「提出ファイル復元」を押してください。



- ・「ファイルを開く」で、先ほど作成した変換後の「.csv」ファイルを指定します。「開く」を押します。



- ・マウスポインタが一時的に  の表示になり、通常の矢印に戻ります。ここでエラーメッセージが表示されなければ成功です。

